

午後1時29分開会

○秋谷議長 ただいまから全員協議会を開会いたします。

開会に先立って、一言申し上げます。本区の元区議会議員である嶋崎秀彦氏が、1月24日、官製談合防止法違反容疑で逮捕されました。区民の皆様にご迷惑とご心配をおかけしますことをおわび申し上げます。区議会では、本件について、重く受け止めており、捜査機関に対しても全面的に協力する所存でございます。

なお、区議会としての今後の対応は、決定次第、公表してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

以後、着座にて進行させていただきます。

それでは、本日の日程に入ります。本日は、区政の重要事項として、令和6年度予算案について、執行機関から説明を受けるため、開催させていただきました。

なお、当協議会は公開とし、後日、議事録も公開することといたしますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○秋谷議長 では、そのようにさせていただきます。

本日の全員協議会に出席していただく理事者につきましては、昨年と同様、区長、副区長、教育長、条例部長及び財政課長とさせていただきますので、ご了承願います。

では、本日の進め方ですが、当初予算案の概況について、執行機関から説明を受け、その後、基本的な質疑があれば受けたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○秋谷議長 では、そのように進めさせていただきます。

初めに、樋口区長からご挨拶を頂きたいと思えます。

○樋口区長 本日は、大変お忙しい中、全員協議会を開催いただき、また、区議会の皆様方の貴重なお時間を頂戴いたしまして、誠にありがとうございます。

予算案のご説明に先立ちまして、申し上げます。令和6年1月24日、本区の元区議会議員及び元区職員が工事契約に関わる官製談合防止法違反の容疑で逮捕されました。区民の皆様にご多大なるご心配、ご迷惑をおかけしておりますことを、こちらにおいても、改めて深くおわびを申し上げます。区といたしましては、このたびの事態を重く受け止めまして、現状の把握及び原因の究明、そして、再発防止に向けた調査、これらを迅速かつ確実に取り組むため、昨日、庁内に再発防止対策検討委員会を設置いたしました。併せて、外部の専門家から成る再発防止対策有識者会議の設置に向けて、現在、人選など、準備を急いでおります。今後は、捜査への全面的な協力を第一にしながら、区といたしましても、事件の背景までしっかりと究明し、再発防止対策に徹底して取り組み、区民の皆様の信頼回復に向けて、全力で取り組んでまいります。

なお、今後の取組の進捗状況につきましては、適宜、区議会の皆様にお知らせしてまいります。また、再発防止対策につきましては、区議会と執行機関との連携が重要であると考えております。よろしくお願ひ申し上げます。

さて、議長からご案内いただきました第1回定例会に提出を予定しております令和6年度千代田区各会計予算案につきまして、ご説明申し上げます。

令和6年度予算案は、区民生活の基盤に関わる六つのテーマを定めて編成し、中でも、

結婚や出産、子育てをためらう方々に寄り添う子ども・子育て支援施策と行政サービスを刷新し、区民生活をアップデートするDXの推進には特に注力し、大きく変化する時代環境に的確に対応すべく、チャレンジングな取組を展開します。予算規模は、一般会計が約695億円、全会計の合計が約842億円となり、予算案を端的に示すキャッチコピーは、「未来を拓く子どもの笑顔と子育て世代の安心を育む予算」といたしました。

特徴的な事業には、教育環境の充実を目指す教材費の半額相当の補助、家庭環境にかかわらず、子育ての経済的な負担を軽減する障害福祉サービス利用における利用者負担ゼロ、きめ細やかな指導の充実と教職員の働き方改革を目指す生成AIと次世代校務システムを九段中等教育学校へ導入するなどの取組があります。

新型コロナウイルスの感染法上の分類が5類に引き下げられ、地域の行事が次々と再開し、まちに活気が戻り、これまでの平穏な日常を取り戻しつつあります。職員一丸となって、区政運営に取り組んでまいりますので、お力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。

予算案の概況、その他特筆すべき点につきましては、財政課長から説明いたします。よろしくお願い申し上げます。

○秋谷議長 ありがとうございます。

それでは、令和6年度当初予算案の概況について、執行機関から説明をお願いいたします。

○中根財政課長 それでは、令和6年度当初予算の概況につきまして、説明を申し上げます。

説明は、概況のA4判冊子とその別冊に基づきまして、（「マイクが入っていない」と呼ぶ者あり）資料の役割といたしましては、概況、A4ですね、予算の全体的な内容を、そして、別冊で令和6年度の具体的な取組……

○秋谷議長 少々お待ちください。聞こえていますか。大丈夫ですか。（「マイクの……」「スピーカーが入っていない」と呼ぶ者あり）

ちょっと休憩します。

午後1時35分休憩

午後1時36分再開

○秋谷議長 はい。それでは、再開いたします。

財政課長、続きをよろしくお願い申し上げます。

初めから行きますか。じゃあ、すみません。初めから、マイクの調子が悪かったので、初めからお願いします。

○中根財政課長 分かりました。では、冒頭から説明して――改めて説明いたします。

それでは、お手元の資料の令和6年度当初予算案の概況とその別冊に基づきまして、説明いたします。資料の役割といたしましては、概況で予算の全体的な内容をご説明しておりまして、別冊で6年度の具体的な取組を記載しておりますので、併せてご覧いただきたいと思います。

では、まず、概況をご覧ください。1ページ目、予算の特徴でございます。

令和6年度予算は、区長の挨拶にもございましたとおり、区民生活の基盤に関わる六つのテーマを定めて編成いたしました。中でも、子ども・子育て支援施策とDXの推進には

特に注力して、大きく変化する時代に的確に対応すべくチャレンジングな取組を展開する予算であることが特徴でございます。

子ども・子育て支援施策を予算化するに当たっては、「千代田区なら安心して産み、育てられる」と前向きになっていただき、そして、本区で育つ子どもたちには「千代田区は私たちのふるさとだ」と思ってもらいたいという理念の下で、2ページ目の中ほどに記載しました3点を柱といたしております。

また、DXの推進につきましては、令和4年にDX戦略を策定して以降、令和5年の8月には、本区の独自のポータルサイトの開設、生成AIのトライアルなど、抜本的な区民の利便性と職員の生産性の向上を目指してまいりました。これからも必要なサービスを必要な方のお手元まで確実に届けるラストワンマイルを意識しながら、温もりがあり、人にやさしい、誰もがデジタルの恩恵を享受できる千代田区DXを推進していくことなどを述べております。

続きまして、4ページでございます。こちらでは、予算の規模をご紹介します。

一般会計695億円余、全会計では合計842億円余となりまして、一般会計の規模は、昨年度と比較いたしまして、約54億円の減少となっております。

続きまして、5ページ、6ページでございます。歳入予算となります。予算の規模の増減は、右側ページの表でご説明申し上げます。

まず、第1款、歳入の大きな柱となります特別区税のうち特別区民税でございます。こちらは、210億円余を計上しております。これは課税標準額の増などによりまして、対前年比で23億5,000万円余りで、12.6%の増を見込んでおります。

続いて、二つ下、特別区たばこ税ですが、38億円余で、対前年度比9億3,000万円余りを32.1%の増を見込んでおります。

第6款、地方消費税交付金です。104億円を計上しております。本年度の決算見込みと来年度は交付月数が11月分となることを踏まえまして、対前年度比で1億円、1.0%の減少を見込んでおります。

続いて、第10款、特別区交付金ですが、50億円余を計上しております。交付金の原資となります固定資産税等の増によりまして、対前年度比で1億9,000万円余、4.0%の増を見込んでおります。

続きまして、14款、国庫支出金ですが、47億円余を計上しております。新型コロナウイルス関連の補助金等の減によりまして、対前年度比8億5,000万円余、約15.3%の減を見込んでおります。

最後に、18款、繰入金になります。各種基金からの繰入金ですが、77億円余を計上しております。対前年度比で84億6,000万余の減となっております。

以上、歳入の特徴的な項目のご説明でございます。

続きまして、7ページ、8ページをお開きください。こちらは、一般会計の目的別の歳出予算となります。こちら、右側のページの一覧表に基づきまして、特徴的なところをご説明申し上げます。

第2款の子ども費になります。こちらは、対前年度比で62億5,000万円余、25.6%の減となっております。こちらは、お茶の水小学校・幼稚園の整備が終了したことにより、対前年度比で71億円余が減ったことなどが大きな要因でございます。

第4款、地域振興費になります。こちらも、対前年度比で7億6,000万円余、10.2%の減となっております。こちらは、レシートを活用した区民生活応援事業が約4億円、戸籍事務費が約3億円の減になったことなどでございます。

第7款の職員費です。対前年度比で14億4,000万円余、11.7%の増となっております。こちらは、職員数の増や、来年度は定年退職者が発生する年でございますので、その要因などで増加しているものでございます。

以上、目的別の歳出の特徴的な項目のご説明でございます。

続きまして、9ページ、10ページ、こちらは、歳出を性質別にまとめたものでございます。金額や主な増減は、9ページ、10ページのところで記載のとおりでございますので、後ほどご覧いただければと存じます。

以上、全体像をご説明申し上げました。

続きまして、一旦、別冊のほうに移らせていただきたいと思います。令和6年度予算における具体的取組をご説明いたします。別冊でございますが、前半の18ページまでにつきましては、特に注力いたしました子ども・子育て支援施策とDXの推進について、その背景、必要性、あるいは、施策に取り組むに当たっての理念や展開するための柱など、概況におけます予算の特徴に記載しているような内容につきまして、データを活用しながら述べております。後ほどご覧いただければと思います。

そして、20ページからでございます。20ページからは、第4次基本構想の分野別の将来像とめざすべき姿ごとに事業を紹介しております。その中でも、各ページの下のほうに主な取組みとして囲ってあるところから、事業をピックアップして、ご説明してまいります。

23ページのところでご紹介させていただきますと、おむつ等提供のところの後に、「(P80)」というふうでございますが、この括弧内でございます数字につきましては、後日、予算の概要としてお配りする冊子のページを紹介しておりますので、予算の概要、仕事のあらましが配られた際には、そちらをご参照いただければと思います。

それでは、具体的な事業について、ご説明してまいります。

まず、23ページ、「多様なライフスタイルやライフステージに応じ」の姿のところは、26ページまでの4ページにわたっております。その中から、まず、23ページの下段、ベビーシッター利用支援事業を拡充でございます。対象児童または18歳未満の兄弟姉妹が障害者手帳を有する家庭において、補助対象を小学3年生の児童まで拡大するとともに、補助上限時間数を1人当たり216時間まで、従来の1.5倍に拡大いたします。

続きまして、24ページです。病児保育室の開設と運営です。病児保育室を今年度内に開設できるめどが立っております。保護者の子育てと就労の両立を支援するため、来年度は開設した病児保育室を運営してまいります。

続きまして、26ページでございます。小児慢性特定疾病児童等に対する日常生活用具の給付に際し、これまでの利用者が世帯の所得に応じ負担していた徴収基準額を区独自にゼロにする取組を開始いたします。

27ページからは、「すべての子どもたちの個性や」の姿に移ってまいります。ここでは、主な取組みとして、今年度から始めております学校給食の全額補助を継続するとともに、区立学校における教材費の半分相当を補助する取組を開始いたします。併せて、教育

ローンに係る利子を補給いたします。区内での子育て家庭では、様々な状況がございますので、入学や在学費用等、あるいは、塾等の学びの費用に対しても、民間の金融機関のローンを借りている場合におきましては、その利子につきまして補給するという取組を開始いたします。

続きまして、下の28ページです。生成AIと次世代校務システムを九段中等教育学校で導入いたします。一人一人に応じたきめ細やかな指導の充実と教職員の働き方改革を実現してまいります。そして、二つ下の体験型英語学習を区立中学校の全学年で実施いたします。これまで小6と中2でございました「TOKYO GLOBAL GATEWAY」でのプログラム参加に、来年度からは、中1と中3も加えまして、小6からの4年間、英語によるコミュニケーションの機会を確保してまいります。

続きまして、30—あ、ごめんなさい、29ページからは、「お互いに支えあい」の姿になります。ここは、32ページまでの4ページにわたっております。主な取組みといたしましては、最初の中にあります児童福祉法に基づく児童発達支援や放課後等デイサービス、あるいは、重症心身障害児等在宅レスパイト事業を利用する際に、世帯の所得に応じて生じていた利用者負担額を区独自にゼロとする取組を実施いたします。

続きまして、30ページの下段、区立小学校に加え、区立中学校の特別支援学級在籍生徒の自宅等と学校間について添乗員が同乗する車両を運行して、生徒及び保護者の負担を軽減するという取組もやっております。

このような形に、今年の子ども・子育て施策におきましては、障害児の家庭の経済的負担を、あるいは、身体的負担を軽減するという取組に特に力を入れた内容となっております。

続きまして、31ページです。ここでは「お互いに支えあい」の姿でございます。ここでは、風ぐるま、地域福祉交通を充実させるために、四谷と神田の新規の2ルートを週5日程度、実証運行を実施するとともに、電気自動車を1台導入して、今後の活用を検討してまいります。ここで取組を実施してまいります。

続きまして、32ページ、中段です。東京都の健康長寿医療センターと連携して実施する認知症支援サービス調査業務の内容に、軽度の認知症相当の高齢者等も対象としたプログラムを研究開発してまいります。これについては、九段坂病院の監修も得ながら、取組を進めてまいりたいと思っております。

続きまして、33ページ、「衛生的な環境のもと」の姿のところでは、下の段の区民歯科健診のペーパーレス化に向けて、実証実験を開始してまいります。

続きまして、35ページ、「伝統や歴史、文化芸術に触れ」の姿のところでございますが、ここでは、DXの取組として、浮世絵や古文書などの貴重な文化財と日比谷図書文化館の特別研究室にもございます貴重な資料類をデジタルデータ化して、区民の、多くの方の区民の目に触れられるような取組を推進してまいります。

ここから、分野別の将来像が「集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち」でございます。ここでは、2ページにわたります、「活発な事業活動により」と「人とのつながりが感じられ」の二つの姿がございます。ここにつきましては、後ほどご覧いただければと思います。

続きまして、分野別の将来像、「やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち」の将

来像の下、「良好な環境が次世代に継承され、このまちに愛着や誇りを」の姿につきましては、40ページ、41ページの2ページにわたってご紹介しております。

ここでは、中小企業のGXへの取組みを支援するといたしまして、低炭素建築物の新築または増改築に係る助成額をこれまでの25万円から50万円に、そして、限度額を1,000万から2,000万円に増額させる取組を予定いたしております。併せて、ZEVごみ収集車の導入で、実際のごみ収集ルートを試験的に運用して、その効果検証をしております。そして、併せて、区が管理する街路灯のうち、LED化されていない約5,000基を7年間でナトリウム灯からLED灯に変更して、省エネルギー化を実現しております。このような区直接の事業も取り組んでまいります。

「良好な環境」では、41ページのところでございます。公園・児童遊園等の整備方針を改定するとともに、5年度に試行的に実施しました公園内における花火利用につきましては、区内8か所で展開できるように、来年度は環境整備を行ってまいります。

続きまして、「人にやさしいまちづくり」の姿では、上の段の子育て世代が住み続けられる住環境を推進するという一方で、これまで区内で親元近居のための住み替えや広い住宅への転居をする子育て世帯への家賃助成をしておりますが、今般、新たに引っ越しに係る費用の助成も追加してまいります。

43ページ、「地域特性を踏まえた」の最後の姿でございますが、ここでは、災害情報を一元化した防災ポータルサイトを開設するとともに、防災アプリを導入して、情報発信を強化してまいります。

以上、10の姿と、最後、基本構想の実現に向けてでございますが、ここでは、デジタル化と地域のスマート化の加速と、ふるさと納税を来年度は開始する——ふるさと納税制度の活用を予定しております。

以上、別冊におきまして、6年度の特徴的な事業をご説明いたしました。

最後に、もう一度だけ、概況のほうにお戻りいただければと思います。

概況の11ページでございます。11ページ、12ページに——11ページ以降で、今後の10年間の財政見直しをお示しいたしました。見直し作成における前提条件は、11ページに記載いたしましたとおりでございます。

12ページをご覧ください。概要をご説明いたします。

歳入のうち特別区税は、人口増に伴って増加を見込み、地方消費税交付金等特別区交付金は、一定程度、相関関係がございますので、二つの交付金の合計額はおおむね横ばいを見込んでおります。その他の特定財源では、道路占用料の増を令和7年度から見込んでおります。

歳出では、人件費は、職員増や定年退職年齢の延長による退職手当の年度間の増減を見込んでおります。また、金額の変動が大きい投資的経費を整備年次を含めて見込み、見込みが難しい後半の改築経費については、これまでの平均額を計上するようにしております。

また、区有施設や橋梁や公園の整備の見直しを、参考資料として14ページと15ページに掲載しております。これは、これまでの施設整備計画に一定程度替わるものとして、整備のいずれかの段階として、来年度予算に計上している施設について、一覧表でお示ししております。この内容も踏まえて、先ほどの投資的経費を算出しております。

そして、12ページの表の下の4行におきまして、基金残高を記載いたしました。今年

度の見通しにおきましては、令和15年度末の基金残高が大きく減少するというこれまでのものから、想定ではありますが、各年度の収支状況を踏まえた積立てをするであろうという実際の財政運営の要素を盛り込んだ案として作成いたしております。その結果としまして、四番町公共施設や和泉小の整備事業などによりまして、特定目的基金の残高は減少してまいります。区債を発行しなくても、各年度のプライマリーバランスを保った財政運営が可能であろうと見込んでおります。

引き続き、将来世代に負担を先送りしない財政運営を推進してまいりたい――推進してまいります。

お時間を頂戴しましたが、説明は以上となります。

○秋谷議長 ありがとうございます。

ただいま第1回定例会に提出予定の令和6年度当初予算案の概要について、ご説明をいただきました。当初予算案の内容については、定例会中に予算審議していただくこととなりますが、基本的な質疑があれば、ここで受けいたします。

何かございますでしょうか。

○小枝議員 「未来を拓く子どもの笑顔を育む予算」ということで、そして、最後は、将来世代への負担をさせないというようなこともおっしゃっていたんですけども、最初に、区長のほうから1月24日の議員と元職員の逮捕ということで、多大なるご心配をかけた。そして、現状把握と再発防止をするということをおっしゃっていたわけなんですけれども、予算編成もこうした逮捕がある前に起きたことなんですけれども、この予算編成時にも同じような体質の中で行われているということに関して、今日の新聞にも載っていたんですけども、前代未聞の不祥事、区議会としては適正な手順・手続をもって明らかにすることが真摯な対応だと、これは議会への指摘ですけども、公共事業の立案、決定、発注における問題や背景などについて十分に調査し、区民への説明責任を果たすとともに、再発防止を図ってほしいということなんです。

区長のお話だと、第三者機関ということはありませんけれども、矮小化してしまっただけで、区民からの問いに答えることはできないだろう。つまり、一部の力のある議員と行政との協力関係ということが、どこまで千代田区政の中に入っているのかということをつまびらかにしていけないと、今、動いている大きな、例えば、区有財産の扱い、区民の土地や建物、それから、区道、補助金、そうした容積緩和も含めて、一部の利益につながるようなことをしているのか、いないのか。これは契約の是非は氷山の一端というか、氷山の一角ということになりますので、そこも含めて、明らかにしていけないと、区民の問いに答えられないだろうということに対する認識を、まず伺っておきたい。

そして、今回の当初予算にそのことが盛りされていないとしても、どのような姿勢で、区民との信頼をまさに回復していくのかという考え方がしっかりしていないと、この闇の深さに切り込んでいくことはできない。力のある議員がいなくなっても、また力のある議員が出てきて同じことになるということを繰り返していますので、ぜひ、その認識をお聞きしたい。

いかがでしょうか。

○樋口区長 内部においても、現在、捜査……

○秋谷議長 あ、すみません、マイク。ごめんなさい。

樋口区長、お願いします。

○樋口区長 現在、ご承知おきのとおり、捜査が進んでいます。まず、全面的に警視庁の捜査に協力しているというところであります。その点において、区としての事実認識をただいま申し上げる段階にはないと考えています。

○秋谷議長 はい。はまもり議員。

○はまもり議員 関連してお話しします。

捜査の邪魔をしてはならない、捜査のことが第一であるというふうに、私もおっしゃるとおりかなというふうに思います。ですが、まず、庁内で、検討チームをつくったり、第三者専門家を呼ぶといったときに、その焦点が合っていないければ、対象が合っていないければ、それは全て無駄になってしまうと思うんです。なので、そこをまず明確に私たちと認識を合わせていただきたい、伺いたいと思います。

今回、当議員は環境まちづくりの委員長でした。そして、この環境まちづくりの再開発に関しては、いろんな問題が起こっています。外神田一丁目再開発、二番町地区計画変更、神田警察通りの道路整備、ミッドタウン日比谷の無償貸付け、こちらが全て法的に問題というわけではありません。住民と住民を二分するような、そして、ある意味、強引に物事を進めるようなことを、そういった役割を担ってきたといったところが問題だというふうに感じております。これは、先ほど小枝議員もありましたけれども、党の問題でも、人の問題でもないんじゃないかと。こういったことは、構造的に問題を見ていかなければ、また同じことが繰り返されるんじゃないかというふうに思います。職員の方も同じように巻き込まれる。私たち議員も責任を感じています。お叱りを受けています。ここをしっかりと考えていかないと。ここの、何で再開発の問題がこんなにたくさんあるのかと。この裏に情報公開請求、情報公開がしっかりできていないとか、透明性がないとか、そういったことがあるんだと思うんです。その焦点について、今回の1案件だけではなく、再開発全体の問題なんだと。そして、契約とか、情報公開のところに問題があるんだということを認識されているのかどうか、もう一度お答えをお願いいたします。

○樋口区長 重ねて申し上げますが、今、区としての事実認識を申し上げることは控えさせていただきますと思います。

昨日、検討委員会を設置いたしました。また、これから外部の有識者会議を設置いたします。そうした中で全容も解明されていく――あ、捜査の進捗に応じて、全容も解明されていくだろうと。そのような段階において、また適宜ご報告もさせていただきます。

○秋谷議長 はい。小枝議員。

○小枝議員 そうですね。残念ながら、その答弁ですと、もし、今回、事実として何かがあったとしても、捜査の手が入らなかったら、区は知っていても見過ごしていたということになるんですね。実は、私たち、いろんなところに聞かれると、昨年2023年の4月号というある雑誌に、その前の年の9月に千代田区役所内に捜査が入ったという、つまり、もう今からすると、もう、1年半以上前、もっと前、そういうふうなことがあっても、非常に悪い言い方をすれば、逮捕劇ということがなければ、区民に知らされるようなことがなければ、区としては、それをなかったことにしていたということになりかねないんですね。もっと自分たちが問題意識を持って切り込んでいかないと、それは、今、議員24人も一緒。行政、区長、副区長も一緒。そういうところでやっていかないと、この悲劇と

というのは、ずっとつながってしまうので、大変、問題意識としては、残念ながら、区長の問題意識は非常に残念、薄いと思います。そういう意識では、第三者委員会も、ある意味、行政内部にとって不都合な人は招かないということにだってなりかねない。そこもやり方を含めて、ちゃんとやっていかないと、癒着の構造にはメスが入れられないだろうということは、もう質問しても同じ答えしか返ってこないのは分かりましたから、申し上げておきたいと思います。

○秋谷議長 詳細につきましては、予算審議の中で、よろしく願いいたします。

ほかにございますでしょうか。

○小林議員 ちょっと視点を変えて。

本来、全員協議会のところ、ちょうどいい場、先ほど区長も説明、今回の官製談合防止法違反についてはご説明がありましたけれども、実際、今後、また記者会見もされて、いろいろお話ししていくんでしょけど、その後のことはまたじっくりやらなくちゃいけないんですけど、実際、24日に何があったのか。例えば、9時半に首脳会議があって、どうい話をされたのか。その後、また緊急首脳会議があって、どうい話をされたのか。それから、昼には、昼頃には、記者会見されたんですか。すぐーるが発信されたりして、その内容についても、どんなような確認をして発信されたのか。特に、教育長のほうは、すぐーるで心配を——学校のことではかされないようにと言って、すぐーるも発信されたと思うんですけども、発信されましたんで、そのすぐーるは誰が誰から指示を受けて、いつ内容を確認して、教育長が内容を確認して、精査して……

○秋谷議長 あ、小林たかや議員……

○小林議員 ちょっと待って、最後まで。（発言する者多数あり）

教育長が発信を指示したのか。そういう、何というのかな、前段を言って、中に説明してもらわないと、なかなか、今後、捜査、捜査となっちゃうんで、現実までの実際を知らせてくれればいいのかと思うんですけど。

○秋谷議長 それは、当初予算案の基本的な質疑として、必要なことですかね。

○小林議員 違います。

全員協議会というのは、区政の重要な事項に関する協議の場なんで、この場を借りて質問していることです。全員協議会というのはそういうものですから。会議規則125条。

○秋谷議長 本日は——政策経営部長。

○古田政策経営部長 全員協議会の在り方については——全員協議会の位置づけ等々については、こちらも、今日については、本日については、予算案のご説明というところまで参っております。ですので、詳細な経緯、経過については、今、手元にないというところでご容赦をいただきたいんですけども、ある程度、まとめをした上で、ただ、捜査、先ほど区長のご挨拶にもありましたとおり、（発言する者あり）捜査内容に踏み込むことはなかなかできないので、それ以外のところで、しっかり経緯、経過についてお示しをできるところをお示ししていくということをお約束させていただきますので、よろしく願いいたします。（発言する者あり）

○秋谷議長 ほかによろしいでしょうか。

○小林議員 この全員協議会というのは、もう、1回しかないんだよね。そこで詰めるわけじゃないんですよ。分かる範囲を、捜査に問題のあることを言えなんて言っていないん

で、それは分かる範囲でここで説明していただかないと、本来はやるんです。重大な事件が、区始まって初の、それをましてや区長が、首長が同席するところって、ここしかなくて、この1回しかないんですよ。後でゆっくりということはなかなか難しい。そこが認識の違いになってきますよ。当然、千代田区政史上始まって、家宅搜索されたことがあったんですか。初めてですよ。初めてのことがあって臨んだら、当然、そういう質問が出る。説明しないなら、出るのは、執行機関としても予想していただかなくちゃいけないと。準備していただかなくちゃいけないというのが、これ、今まではそうなんですよ。そういうところを、違う言い方で、何か国会で聞いたような言い方で通してしまうのは、おかしいと思う。分かる範囲はここで全部述べて、対処していただきたいと。

○秋谷議長 休憩します。

午後2時07分休憩

午後2時14分再開

○秋谷議長 再開いたします。

お答えできますでしょうかね。

○古田政策経営部長 お時間を頂戴いたしまして、大変失礼いたしました。

今現在、現時点において、お話しできることというのは限られているということについては、ぜひ、ご理解を賜りたいと存じます。改めて、先ほどご質問にもありましたすぐーの件なども含めて、整理をしてお示しをさせていただき、今後、議会と共に、再発防止に努めてまいりたいと存じますので、よろしく願いいたします。

○秋谷議長 ありがとうございます。

小林議員。

○小林議員 よろしくお願ひしたいんですけど。議会と、今回の場合、議会も当然、執行機関も当然、同じやっぱり情報は共有して、発表するのも一緒です。ぱんと発表されて、議会との中で疑問が残っちゃうような発表されても困るし、突然、第三者機関というのが出てきているし、何ら議会と一緒にやっていこうというところは、これ、千代田区全体で対応しなくてはいけない課題なんで、そこはお願いしたいと。

それから、話していくといっても、時間もあんまりない。この決算議会の中で、やっていかななくちゃいけないんで、話す場も積極的につくっていただきたいと。こちらもつくっていきたいというふうに思いますので、よろしくお願いしたいと。

○秋谷議長 ありがとうございます。（「いいんですよ」と呼ぶ者あり）

政策経営部長。（「いや、違う、副区長」と呼ぶ者あり）あ、副区長。

○坂田副区長 はい。ただいま小林たかや議員ご指摘……今般の案件につきまして、詳細はまだ分かりませんが、（「聞こえないな」と呼ぶ者あり）……一体となって……

○秋谷議長 あ、すみません。またマイクが。

お願いします。

○坂田副区長 ただいま小林たかや議員からご指摘いただいたこと、重く受け止めております。今般の案件、これ、まだ全貌、詳細は明らかではございませんが、少なくとも議会、そして、執行機関が共に反省をし、今後の対応をしていかなきゃいけないものだというふうに自覚をしております。つきましては、情報の共有、そして連携、これを密に物事に対処していきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

○秋谷議長 はい。

ほかにございますでしょうか。

○岩田議員 先ほどもいろんな方からお話が出ましたけども、今回、千代田区の議員、そして役所のほうから逮捕者が出たということで、特に、まちづくり系は、ここ最近、かなり強引とも思えるような進め方ではないかというような声も聞きます。なので、こういう事件があったからというわけではないですが、襟を正すためにも、より丁寧にやるべきではないかと思っておりますが、区長はどのように考えているのかお答えいただきたい。

○秋谷議長 質問……。

副区長。

○坂田副区長 区政の進め方につきましては、丁寧に区民に対応してまいる。これはもう一貫して同じ姿勢でございます。今後もそうしてまいりますし、この事件、この契機に、改めて襟を正してまいりますというふうに思います。

○岩田議員 特に疑義があるとか、疑いがあるということですね、疑義があるとか、マスコミや住民の方から指摘されているようなことに関しては、特に粛々と進めていくというような、そういう強引なやり方ではなく、全て明らかにしながら、丁寧に丁寧にやっていくべきだと思いますので、今後、そのようにお願いしたいと思っております。

○秋谷議長 はい。ありがとうございました。

田中議員。

○田中議員 令和6年度当初予算の概要のご説明、どうもありがとうございました。

千代田区の予算で、子ども予算ですね、すごく……

○秋谷議長 田中議員、もうちょいマイクの近くに。

○田中議員 聞こえない。

千代田区の子ども予算、頑張っていたのが分かりました。しかしながら、子ども世帯は、千代田区の中で20%、2割ということで、そのほかの80%の大多数のマジョリティーの区民へのサービスとのバランスというものはどうなっていますでしょうか。これは、令和5年の第3回定例会でもご提案させていただいたことなんですけれども、区民全体へのバランスということをどのようにお考えでしょうか。

○秋谷議長 ちょっと詳細については、予算審議の中でやっていただければと思うんですけども。（発言する者あり）

○田中議員 ちょっと、分科になっちゃうと、全体のバランスのことなので……

○秋谷議長 まあ、予算……。（発言する者多数あり）

今、大きい意味で答えられることはできませんでしょうかね、執行機関から。

○中根財政課長 個別の内容につきましては、ちょっとここでご説明を申し上げるのは控えさせていただきますが、全体的に子育ての世代にも注力し、そして、高齢者等々の世代にもサービスを展開し、そして、もちろん、改めて特にサービスを必要としなくても、この区民として生活していくための必要なサービスとして、住民票の転入・転出ですとか、まち、道路、公園の維持管理とか、あるいはごみの収集ですとか、そういった区民として基本的なサービスは当然実施している。それ以外に必要なサービスを、税として頂いたものを必要な方に届けるということで、今回注力した子育て施策、あるいはDXのサービスというような考えで予算を編成、今回の予算については、編成いたしております。

○秋谷議長 はい。

ほかにございますでしょうか。（発言する者あり）

○岩佐議員 すみません。最後のページ、この当初予算の概況の最後のページで、改修施設整備の見通しというのを出していただいたんですけども、ちょっとその他令和6年度予算で調査検討段階のものというのが抽出されているんですけども、もう少し施設整備についての見通しというのが、この予算の中でちょっと出ると思っていたものですから、今、公共施設の管理方針ですか、改定中だということも理解しているんですけども、逆に、改定するまでは、中長期の施設整備についての見通しというのは全く出てこないものなんでしょうか。すみません、予算でもう少し見通しとなると、これは全然見通しでも何でもなくて、今年、調査しますよという内容になっているので、そこについて、ちょっと補足でご説明いただけますか。

○中根財政課長 予算の概況の最後の14ページ、15ページのことのご質問かと存じます。

14ページにおきましては、既にもう着手している新築、改築している建物や、今後、改修等が予想される施設、そして、橋梁等を、既に着手しているものにつきましては、この14ページに掲載しております。そして、今後、施設整備をしていくであろうということで、6年度予算に載っているものにつきましては、15ページに掲載しておりますので、ここに載っていない施設につきましては、（発言する者あり）6年度に載っているものを掲載しております。具体的に、ここに載っているものがどのようなことをやる予定にしているということにつきましては、改めて、後日、お配りする予算の概要の中で記述を、一定程度、詳しい記述をしております。

○岩佐議員 すみません。私の聞き方が悪かったですけども、11ページ、12ページに、今後の財政見通しを出していただいている、先ほどご説明も頂きました。その中で、6年度にこれだけのことをやられるというのは、これは読んで、15ページの、そうだと思うんですけども、そうじゃない数ある施設整備ということに対して、以前は、みらいプロジェクトに施設整備計画が出ていたと。今後、あのような出し方を出す必要も私はないと思っていますけれども、ただ、そうはいても、これだけの11、12ページの中で、こういう見通しを出すのであれば、出し方はいろんな出し方がありますけれども、中長期的な整備計画ということは、ある程度は示していただきたいという。それがどのタイミングで――私はちょっと予算で示されるものだと思っていましたので、予算じゃないとすると、どういうタイミングで、今、改定中の方針も併せて発表されるのかをご説明いただきたいと思っているんですけども、いかがですか。（発言する者あり）

○古田政策経営部長 ただいま財政課長のほうから申し上げましたとおり、令和6年度予算で調査検討段階のものということで、一覧を書かせていただいております。まさに、調査検討段階ということで、整備のスケジュールであるとか、そういったことについても、まだこれからというような状況がございます。ですので、ある程度、それでもどういうスケジュール感なのかというところを、ぎりぎり書ける範囲で、予算のあらましの概要の本編のほうでもお示しをさせていただきつつ、今、改定作業をしております公共施設等総合管理計画の個別計画の中では、恐らく、やはり、その中でも、各施設の今後予定される修繕であるとか、場合によっては、改築というようなことも、ある程度のお示しができる

かとは思っておりますが、ちょっと今回の予算のスケジュールには間に合っていないという状況もございます、今年度取り組んでおるんですけども、実際に管理計画が策定完了するのが今年の7月ぐらいをめどにしておりますので、ちょっと今回は間に合わないという状況はご容赦いただきたいんですけども、一定程度お示しできる部分を別途お示しできるかというところは、改めて検討させていただきます。

いずれにいたしましても、予算のあらましの中で、一定程度、今、見えているところ、調査検討段階とはいえ、今、見えている程度、見えていること、今年度やることについては、お示しをさせていただいておりますので、ご容赦いただければと存じます。

○秋谷議長 ほかはよろしいですね。

○林議員 予算は、予算の議事というか、議案が出た段階で、12ページです。予算と直接関係ないんですが、令和15年度、これ、試算されているわけですけども、お隣の11ページに、人口増加によると。もう端的に言うと、令和15年というのは、千代田区民何万人の想定でこの試算を立てられたのか、お答えください。

○秋谷議長 大丈夫ですか。

○林議員 まだ1問なんです。2問もある。（発言する者あり）

○秋谷議長 休憩します。

午後2時27分休憩

午後2時28分再開

○秋谷議長 再開します。

○中根財政課長 令和15年度の推計人口といたしましては、全年齢の人口として、7万8,000人を見込んでおります。

○秋谷議長 林議員。

○林議員 もう一つが、先ほど田中委員が言われたように、構成比なんですよ。7万8,000人の中で、年少人口、生産人口、高齢等、これ、それぞれ何%ずつを試算されて、この結果の試算になっているのか、将来予測の、お答えください。

○中根財政課長 年少人口につきましては、1万90人を見込んでおります。それにつきましては、今後の指数で、一定程度、指数を掛けたもので見込んでおりますので、概算の人数ということでございます。

○林議員 いえいえ。あと、生産人口と高齢者。

○秋谷議長 生産人口と高齢者。

○中根財政課長 すみません。ちょっと手元の資料でそこまでございませんので、生産年齢人口については、推計、生産年齢人口では、高齢者人口というところまで見込んで推計していたかどうか、ちょっと手元の資料では確認できないので、そこまでです。

○秋谷議長 はい、分かりました。

○林議員 推計って、適当だったということ。（発言する者あり）

○秋谷議長 よろしいでしょうか。（発言する者あり）

○林議員 いいの、答え。

○秋谷議長 今、お答えになったのが、現時点で分かる数字ですよ、1万90。合計が7万8,000で……

○林議員 推計は分からないけど、適当にやっちゃったというので……

○秋谷議長 林議員、何かあれば。

○林議員 いやいや、もう。

○秋谷議長 大丈夫ですか。

○林議員 そんなずさんな推計だったというのがよく分かった。

○秋谷議長 ほか、よろしいでしょうか。

以上をもちまして……。〔発言する者あり〕

白川議員。

○白川議員 DXについて、お伺いします。

今年がDX推進の最後の年ということで、総仕上げなのかなと思います。一つ、もう何か自分の心情とか希望とかの話になってしまうんですが、DXというときに、やっぱりITベンチャーが重要かと思うんですが、この予算の編成において、千代田区の場合は、あんまり産業育成に力を入れていない。要するに、放っておいても、丸の内とか大手町がある、我々の手出しのできないもう完成されたまちがあるので、産業が発展する、しないというのはあんまり気にしないのかもしれないんですが、それにしても、DXという場合に、ITベンチャーを、例えば、秋葉原に呼び込む工夫とかというのが欲しいなと思っています。それは、渋谷のまちなんか行くと、やっぱりITベンチャーが非常に集まっていて、活気がある気がするんですが、どうも秋葉原にはそういう活気がないと。我々が産業育成をできるまちとすれば、もう最後に残っているのが秋葉原だと思いますので、このDX最後の年で、さらにこれから進めていくというときに、このITベンチャーを千代田区で育てていく。で、そのベンチャーと共に、千代田区のDXを進めていくというのはどうかなと思うんですが、ちょっと思いつきに近いんですが、もしお考えがあったら、お聞かせください。（発言する者多数あり）

○秋谷議長 大丈夫ですか。一言。（発言する者多数あり）

○清水地域振興部長 少し個別具体のご質問かもしれませんが、私がお答弁するのが適切かどうかはちょっとありますけれども、ご指摘いただきましたとおり、秋葉原、ピンポイントで秋葉原で産業育成、ITベンチャーの産業育成して活気のあるまちづくりをということでございますので、地域振興部マターだけで完結できる話ではないというふうには思っておりますけれども、ご指摘のように、秋葉原は様々なまちとしての課題を抱えております一方、古くからかなりのポテンシャルを持っている、いまだに持ち続けていて、外国の方も含め、人を引きつける力がいまだにあるというまちであるというふうには認識をしておりますので、ご指摘の点も踏まえながら、秋葉原の力を将来的にその地域に住んでおられる方たちがより一層誇りに思いながらも、産業が活性化をされ、にぎやかなまちになるように努めてまいりたいと思っております。その中で、DXというものも手段として活用できればというふうを考えております。

○秋谷議長 ありがとうございます。

よろしいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○秋谷議長 はい。以上をもちまして、本日の全員協議会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

午後2時33分閉会